

【新型コロナウイルス感染症】 医療従事者支援に対する感謝状贈呈について



副会長 宮里 達也

2019年11月頃に中国から当初、重症肺炎として伝えられていた感染症は、瞬く間に、全世界で猛威を振るった。日本国内においても多くの国民が新型コロナウイルス感染症に感染し、各地で「緊急事態宣言」を何度も発出する事態となった。このような状況下、本会では新型コロナウイルス感染症の対策本部会議を設置し、何度も協議を重ね、マスクミへの感染防止における正しい情報の提供や、沖縄県内の各イベントへの自粛要請や感染防止対策の呼びかけを行い、その結果、県民もその声に応えてくれた。

新型コロナウイルス感染症は、この3年間流行の波を繰り返し、ようやく本年の5月8日に感染症法上の類型が2類相当から5類に引き下げられることに決まった。これまで、会員をはじめ医療従事者の皆様には、それぞれの立場で、検査、診断、治療、ワクチン接種、高齢者施設のクラスター対応等献身的にご対応していただいた事に感謝申し上げます。

今回の新型コロナウイルス感染症に関しては、多くの県民から懸命に県民医療を守るために奮闘している医療従事者に感謝と支援をいただいた。本会には、県民や企業から医療現場を支援したいとして、19件の個人・団体より1億3,476万8,417円の寄附金、48件の個人・団体よりマスク等医療資材の寄贈や通信機器等の提供、また、中高校生からは激励メッセージ

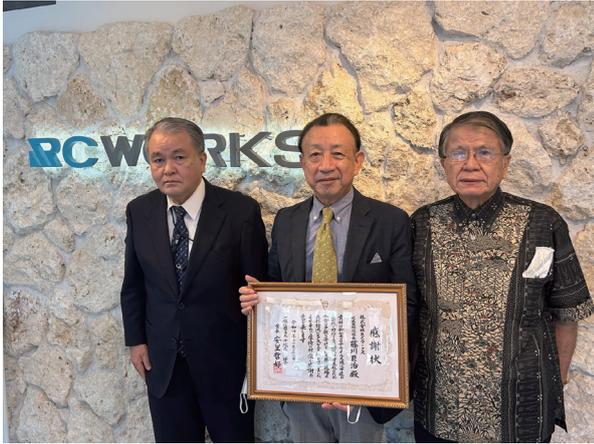
等物心両面からの支援が届いた。寄附金については、寄附者の意向に沿って、マスク、ガウン、フェイスシールド等を購入し、他に寄贈していただいた医療資材と合わせ会員施設へ配布すると共に、重点医療機関におけるコロナ治療のための医療機器の整備や、地区医師会におけるPCR検査機器の整備等に活用させていただいた。

医療現場で必死にコロナに対応する医療従事者にとって、このような県民からのご支援は、何よりの励みとなることであり、ご寄附、ご寄贈、激励をいただいた県民や企業・団体の皆様に心から感謝と敬意を申し上げる次第である。

本来であれば、ご寄附、ご寄贈等をいただいた全ての方々（団体）へ直接お礼を申し上げるべきであるが、時間的な制約もあり、令和4年11月21日（月）・22日（火）の両日に安里哲好会長と主な企業6社を訪問し感謝状を贈呈した。なお、直接お伺いできなかった方々へはお礼状を送付した。

5類に変更以後の医療現場での対応の具体的な内容についてはほとんど決まっていない。本会としても引き続きコロナを含む県民医療の確保に全力で取り組むことが、県民へのお返しになると思うので、会員の先生方におかれてもご協力をお願い申し上げます。

報 告



株式会社 RC ワークス



沖電グループ百添会



沖縄セルラー電話株式会社



三栄工業株式会社



株式会社りゅうせき



琉球朝日放送株式会社

